

2010年11月吉日

広報ご担当者さま

広告募集について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

現在、チェ・キョンファ(キュレーター)、井上文雄(CAMP)、杉田敦(女子美術大学教授/美術批評家)、女子美術大学の共同プロジェクトとして、芸術生産に関わる人々が「ナショナリズム」という問題に向き合い、多様な形式のテキストや視覚表現から発信するタブロイド紙『Na+ (エヌエープラス)』の2011年の発行に向け、活動しております。この『Na+』の出版に向けて、貴社に広告をお願いしたく、ご連絡差し上げた次第です。

集まった広告代は、寄稿者であるアーティスト、キュレーター、研究者への謝金、印刷費、配送費等に充当されます。

何卒ご理解の上、ご協力いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

Na+実行委員会

チェ・キョンファ(キュレーター)

井上文雄(CAMP)

杉田敦(女子美術大学教授/美術批評)

女子美術大学

◆概要

ナショナリズムは国家の形成や変遷と共に、多様な流れを生みだしてきました。一つの時代をとっても、それぞれの国のナショナリズムが、互いに影響し合いながら力を強めることも、また、一社会の様々な勢力の間で同じ事が起きる場合もあります。

近代国家というシステムがある以上、全てのナショナリズムが間違いだと括ることはできません。しかしそれは、「私たち」の結束力の源となりうると同時に、国家の基盤の一つとして構築される、国民文化やナショナル・アイデンティティーについての批判的考察を深化させることなく、「私たち」の対岸にいる「彼ら」への想像力の欠如や、排他性、無関心を引き起こしてしまう危険性を持ち合わせています。その上、ナショナリズムは、国家という枠組みの中で生きる我々の感情や帰属意識に働きかけるため、自らの中にあるナショナリズムを冷静に見つめる事は容易ではありません。

この問題について取り組むためには、国家とはどのような共同体であり、「ナショナル・アイデンティティー」や「他者」はどうか構築されるのかについて、そして我々がどのような主体として、国家や他者と対峙しうるのかという問題について考察する必要があります。

このプロジェクトでは、アーティスト、キュレーター、研究者等、現代美術とその言説の創出に関わる人々が、文化生産、政治、市場経済、言説のみならず、個々の主体に現れるナショナリズムに対峙し、多様な形式のテキストや視覚表現で発信する試みです。

◆寄稿者 ※現在確定の方のみ記載

足立元（美術史） 小泉明朗（アーティスト） Olivier Krischer（美術研究） 毛利嘉孝（社会学、文化研究、メディア論） ロジャー・マクドナルド（AIT ディレクター） 福住廉（美術批評） 遠藤水城（キュレーター） 森村泰昌（アーティスト） 佐々木加奈子（アーティスト） 神谷幸江（広島市現代美術館キュレーター） 藤井光（現代美術家） 伊奈英次（写真家） 片岡真実（森美術館キュレーター）

◆広告媒体

タイトル：Na+(エヌエープラス)

紙面立て：B4 タブロイド、24 ページ（調整中）、横書き

発行：CAMP

編集：Na+実行委員会

協力：女子美術大学 大学院 GP

発行予定日：1 月下旬

発行部数：5000 部（調整中）

発行価格：500 円

◆募集する広告枠

掲載面：下部分横長の帯状

◆掲載料金

大 1 枠(w235×h50mm) 3 万円

中 1 枠(w115×h50mm) 2 万円

小 1 枠(w55×h50mm) 1 万円

別途 デザイン料 サイズに関わらず一律 5000 円（デザイン制作依頼を希望する方のみ）

※デザイン枠に関して 1P を使用したい等の要望がございましたらお気軽にご相談ください。

◆申し込み方法

メールまたは電話にてご連絡ください。折り返し、契約に関する書類をお送り致します。

尚、広告のデザイン原稿の締め切りは 12 月 5 日（日） までとなります。

※締切日に関しては応相談

【お問い合わせ先】女子美術大学 GP 室

252-8538

神奈川県相模原市南区麻溝台 1900

女子美術大学 1 号館 6 階 108 女子美術大学 GP 室

Na+広告担当：倉茂（女子美術大学 大学院 GP）、福島、萩原

Tel：042-778-6148

Mail :joshibigsgp@gmail.com

女子美術大学は、「大学院生の高度な専門人材の育成と、新たなアート分野における職域の開発及び定着」を目的に、社会的実践に基づいた教育活動と位置付け、広告の受付と編集を受諾し、女子美術大学大学院 GP の取組の一環として、実施しております。

広告管理に関するお問い合わせは女子美術大学 大学院 GP 担当者までお願いいたします。